

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																			
ET45H002		重複障害教育演習(Seminar in Education for Children with Multiple Disabilities)					特別支援教育																			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																				
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 藤野陽生 E-mail fjinoh@oita-u.ac.jp 内線																				
授業の概要	特別支援学校において、障害の重度・重複・多様化が問題になってきている。現在行われている実践や実践上の課題、そのような課題解決のための試みを行った国内外の実践的研究や実践に関わる論文を精読し、検討する。 実践研究の計画を立案するための能力を高め、重複障害における課題解決のための能力を高める。																									
具体的な到達目標										DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1 重度重複障害教育の課題を分析することができる																										
目標2 重複障害に関する課題を検討するための計画を立案することができる																										
目標3																										
目標4																										
目標5																										
目標6																										
目標7																										
目標8																										
目標9																										
目標10																										
授業の内容																										
1 重複障害教育における多様な課題																										
2 障害児研究における多様なアプローチ																										
3 重複障害児を対象とした研究の検討																										
4 障害児への指導に関する研究の検討																										
5 重複障害教育に関する国内の動向																										
6 重複障害教育に関する国内の動向と課題																										
7 重複障害教育に関する海外の動向																										
8 重複障害教育に関する海外の動向と課題																										
9 重複障害児への指導に関する国内の実践																										
10 重複障害児への指導に関する国内の実践上の課題																										
11 重複障害児への指導に関する海外の実践																										
12 重複障害児への指導に関する海外の実践上の課題																										
13 特別支援教育の研究に関する諸課題																										
14 重複障害児の研究に関する諸課題																										
15 現在の課題と今後についてのまとめ																										
ラ イ ク ニ テ ン イ グ エ	A:知識の定着・確認	各回で、参加者の疑問を元にディスカッションの機会を設ける。プレゼンテーション、レポートにより課題に関連した文献の収集、購読、発表が必要となる。										工 夫	そ の 他 の													
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。文献の収集、プレゼンテーション、レポート作成等の準備をする。(15h)																								
	事後学修	関連する資料を調べる、読む等すること(15h)																								
教科書	教科書は指定しない。																									
参考書	特別支援学校学習指導要領等 必要な文献、論文について適宜紹介する																									
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10														
	プレゼンテーション	40%																								
	討論への貢献	30%																								
	最終レポート	30%																								
注意事項	なし。																									
備考	発表、議論には参加者の積極的な参加を求める。																									
リンク																										
	URL																									